

一緒に遊ぶ

R5.7.11

Aちゃんの隣に寝そべりたかったRちゃん。
でもどう伝えたらいいかわからず涙・・・😞
「入れて」って言うてみたらどうかな？と提案。

「入れて」 「いいよ」
Aちゃんも少しずれてスペースを作ってくれたり、
Rちゃんも「ありがとう」と伝えたり
互いを思いやる姿が見られました。

狭いソファにぎっしりと並びながら、
しばらくまったりタイムを楽しむ2人。
同じことをすると、楽しいね！



気温が暑くなり、なかなか外に出られないことが続き部屋で過ごすことが増えています。
室内でゆったり過ごしていく中で友達との関わりも大きく広がっているりんご組さん。

“お友達が楽しそうなことをやっている”

“わたしもやってみたい”

“同じことをしてみたい”

友達がすることへの憧れから同じ輪に入っていき姿が見られています。

一緒に遊びたい気持ちから言葉よりも先に手が出てしまう・・・そんな姿もありますが「一緒に遊びたかったんだね」と気持ちを一度受け止めてあげてから「貸してって言うんだよ」とその都度、言葉を知らせてあげる関わりを意識していています。

一緒に遊ぶ中で『楽しい』をたくさん共有していきながら、子どもたちのやりとりを見守っていきたいと思います。
大人から遊びを広げることも大切ですが
子どもたちからの遊びの発展にも期待し、広げられるような環境作りをしていきたいです。



Rちゃんが恐竜を患者に見立て、お医者さんごっこをして遊んでいると・・・

その様子を見てHちゃんが「何してるの?」「わたしもやりたい!」「一緒にやろう?」と興味津々🌟

Rちゃんも「うんいいよ!」とお返事。

2人で仲良くごっこ遊び😊

「お腹空いたみたい」「ご飯あげましょう」「大丈夫ですよ」と2人の世界が広がっていました。